



花き生産情報第6号（要約版）

平成30年9月20日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

適正な温度管理と病害虫の防除により高品質な花きの生産に努めましょう。

1 秋ギク

(1) 生育状況

生育はおおむね順調である。

(2) 今後の作業

- ・夜温が15℃以下にならないように温度管理を行い、病害虫の早期発見・早期防除に努める。
- ・収穫は3分咲きを目安に行う。

2 夏秋ギク

(1) 今後の作業

- ・日当たりと排水の良いハウスに苗床を作り、親株を伏せ込む2週間前に施肥する。
- ・親株は病害虫の被害が無い健全なものを選び、10月下旬までに伏せ込みを行う。

※アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

◎日本一健康な土づくり強化月間（9月～11月）

安全・安心な農産物を安定して生産するためには、土づくりが重要です。堆肥の施用や土壌診断などにより、健康な土づくりに取り組みましょう。

◎秋の農作業安全運動展開中！（8月15日～10月31日）

- 1 慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- 2 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
- 3 自分を過信しすぎず、無理のない作業を行いましょう。
- 4 一人での作業は避け、やむを得ず一人で作業を行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- 5 家族や周りの人など、地域全体で注意を呼び掛けましょう。

◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報提供システム

【詳細検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

【作物名検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

◎農業保険（農業共済及び収入保険）への加入について～

1 農業共済

「農業共済」は、自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に共済金が支払われる制度です。

2 農業経営収入保険

平成31年から新たに始まる「農業経営収入保険」は、農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体を対象とし、自然災害に加え、価格低下などにより収入が一定割合以上減少した場合に補填金が支払われる制度です。

加入には、青色申告が条件となっており、平成31年分の申請は、30年10月から11月となっています。

※詳しくは、地域の農業共済組合にお問い合わせください。

報道機関用提出資料	
担当課	農産園芸課
担当者	野菜・畑作物振興グループ 大和山総括主幹
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5076
報道監	農林水産部 石戸谷農商工連携推進監 内線 4966